

2010年3月2日

相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会 御中

名古屋市天白区天白町野並相生 28-341

相生山の自然を守る会

代 表 近藤 国夫

TEL 090-6337-1095

第2回相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会への意見書

新たな渋滞箇所の発生

野並交差点、島田交差点をはじめとする（特に平日朝の市中心部へ向かう車両）渋滞は、天白川を渡ることがボトルネックになり、天白川各橋に到る道路への交通集中が主な原因と考えられます。

したがって各橋に到る道路を新設しても根本的な渋滞緩和にはならず、さらに弥富相生山線が開通すれば、現在も朝夕は渋滞している一つ山鳴海線久方交差点と東海橋線相生山交差点間は今以上に交通量が増加し、久方交差点に集中する車により各方面への道路に新たな渋滞が発生すると考えられます。（別紙参照）

周辺には学校も多く（ひばり幼稚園、相生小学校、山根小学校、豊田工業大学）さらに久方交差点は相生小学校、山根小学校の通学路であり悪影響が出ると予想されます。

名古屋市は、道路を建設すれば渋滞緩和や入り抜けが解消するかのような説明を地元にしていますが上記のような悪影響については説明していません。

このような姿勢では市民の理解を得ることはできないと考えます。

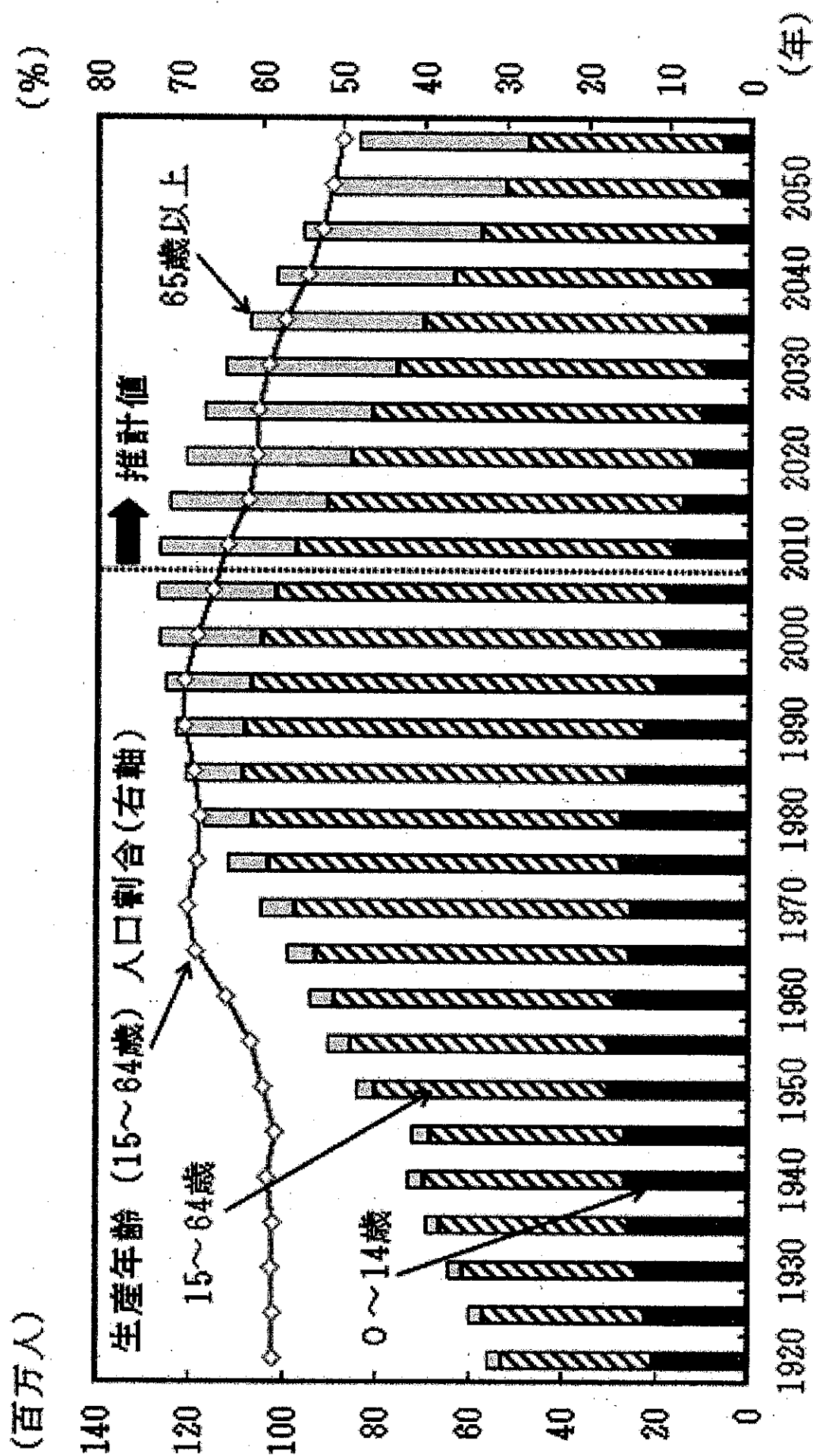
交通量減少

国土交通省は2008年に将来の交通量予測を2005年から2030年の間に2.6%減少するとしています。これは少子高齢化や保有台数減少によるもので、さらに日本の人口は2005年ころをピークに減少をはじめていて、（裏面参照）特に生産年齢人口は急激に減ると推計され、生産活動や国内消費は今後も低下が続くと考えられます。

したがって不要不急な道路建設が許される状況ではないことを申し上げます。

日本の人口推移と将来推計人口

生産年齢人口割合は既にピークアウト



(備考) 2005年までは総務省統計局「国勢調査」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成18年12月推計)」により作成。

新たな渋滞箇所発生の恐れ

